

令和7年度第1回臨時評議員会議事録

公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団

- 1 日 時 令和8年3月26日（木曜日）
14時00分から15時00分まで
- 2 場 所 新宿NSビル30階スカイカンファレンスルーム5・6
- 3 評議員現在数 12名
- 4 定 足 数 7名（過半数の出席をもって成立）
- 5 出 席 者 9名（評議員）
植田昌利、大松あきら、おけやまさと、さいとう和樹、
四宮淳司、富田幸博、野川春夫、星大輔、水村真由美
- 6 その他出席者 8名
(理事長) 塩見清仁
(常務理事) 小室明子
(理事) 延與桂、上代圭子、中川冷子、平野裕一
(監事) 飯塚幸子、中山正雄
- 7 議題
決議事項
第1号議案 令和8年度事業計画及び予算について(意見聴取)
第2号議案 従たる事務所に伴う定款変更について
第3号議案 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について
報告事項
(1) 東京2025デフリンピックについて

8 議事に至るまでの経過

定刻になり、評議員会を開会した。議長選出までの間、河野和久事務局長が進行役を務めた。冒頭、当評議員会は定款第 19 条第 1 項及び評議員会会議規程第 8 条に定める定足数を満たし、有効に成立する旨を報告した。

続いて定款第 18 条の規定により議長の互選を求めたところ、「富田幸博評議員を議長に」との推薦があり、出席した全評議員から「異議なし」の声があったため、富田評議員が議長に就任し、議長席に移動し議事を開始した。

9 議事の経過及び結果

第 1 号議案 令和 8 年度事業計画及び予算について（意見聴取）

（1）議案説明

議長が本議案について事務局に説明を指示し、これを受け河野事務局長が、配付資料「令和 8 年度事業計画書及び予算書（案）」をもとに説明を行った。

（2）質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

（質問）

自主事業に国際性のある取組が少ないように見えるが、東京都としての国際性を踏まえ、現状を確認したい。

新組織であるスポーツコミッション TOKYO は、どの程度の人数でスタートするのか伺いたい。

（回答）

自主事業としての国際的な取組は現時点ではないものの、新たに国際ユーススポーツ大会をスポーツコミッション TOKYO へ移管して実施予定。競技はサッカー、バドミントン、卓球に加え、バレーボール、ソフトボールへ拡大予定。

スポーツコミッション TOKYO は 4 月 1 日に開設し、約 50 名での体制を想定している。

（3）決議

以上について、全出席者一致で理事会の決議の際の参考意見とすることを同席している理事に求めた。

第2号議案 従たる事務所に伴う定款変更について

(1) 議案説明

議長が本議案について事務局に説明を指示し、これを受け河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

(3) 決議

第2号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

第3号議案 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について

(1) 議案説明

議長が本議案について事務局に説明を指示し、これを受け河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

(3) 決議

第3号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

10 報告事項

(1) 東京2025デフリンピックについて

本件について、北島本部長補佐より報告し、議長より質疑及び意見を求めたところ、特段の発言はなかった。

11 その他

その他、当事業団の運営等に関して議長から意見を求めたところ、以下の発言があった。

(意見)

東京都のスポーツ施設は全体的に不足し、老朽化に伴う工事が増える状況にある。駒沢オリンピック公園陸上競技場については、2028年初頭から約3年間利用できない改修工事が予定されているという話を聞いており、改修で3年間全面停止となる点に強い違和感を持つ。他の施設では工区を分けたり仮設を使ったりして、利用を続けながら工事を行った例が複数あり、今回のような長期間の休館には疑問を感じている。今後の改修でも、できるだけ利用を止めずに進めるやり方を求めたい。

(回答)

都のスポーツ施設は老朽化が進み、工事に伴う休館が続いてきた状況にある。利用者や競技団体にも負担が生じてきたことは把握しており、指定管理者としても休館期間の影響は大きい。工事の主体は東京都であり、現場としては可能な範囲で影響を抑える方向で調整を進めてきた。今後の運営を考える上で重要な内容として受け止める。

(回答)

駒沢総合運動場は築60年を超え、複数の工事が重なる状況が続いている。多くの改修が同時期に進み、休館が発生してきた。一部の工事では、平日を工事に充て、土日を利用日にする運用を検討している。陸上競技場の3年間かかる工事については、トレーニングルームやサービスセンターの移転、新たな室内練習場の整備、諸室の拡大、フィールド全体の掘削など、従来と異なる規模の大きい内容になる見込み。利用団体への影響を踏まえ、できる限り負担を少なくする方向で東京都への働きかけを続けていく。

以上をもって臨時評議員会の議事を全て終了したので、議長は終了を宣言し、15時00分、散会した。